

～ かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM



島原市立第四小学校
学校だより No.149
令和5年10月3日(火)
文責：校長 大槻浩二

友情・Challenge・Let's5!



5年生が、9月26日から1泊2日で宿泊体験学習に国立諫早少年自然の家に行ってきました。暑さが心配されましたが、予定どおりにプログラムが実施できました。

実施したプログラムは、主に4つです。

- ①沢登り ②野外炊飯（やきそば）
- ③ナイトハイキング ④オリエンテーリング

今回の宿泊体験学習は、「友情・Challenge・Let's5(go)」がテーマでした。子どもたちが、お互いに協力しないと乗り越えられないようなプログラムを設定し、教師は見守り支援を中心とし、子どもたちが自分で考え、自主的に行動できるように事前指導を行いました。また、学校を離れての活動であり、他校との交流もあることから、これまで「四小スタンダード」で力を入れてきたあいさつや規律などが「本物の力」として発揮できるか、子どもたちには目標を与えました。

それぞれの活動で協力し、助け合う姿が見られたとのこと。子どもたちの大きな自信となる充実した2日間となりました。



今回の体験学習で得た貴重な学びを残り半年で磨き上げ、来年度は、本校の最高学年として立派に責任が果たせるように準備していきます。
写真はHPで！

男子団体優勝 女子団体優勝 そして「総合優勝！」

9月30日（土）、島原市霊丘公園内の土俵にて行われた「市民体育祭相撲競技の部」に男子11名、女子6名が参加しました。この日に向けて、25日から4日間、杉谷地区の安永さん、吉田さんの指導を受け、練習してきました。

男子団体の部は、3校が出場し、1年生から5年生まで1名、6年生2名の計7人の選手で戦いました。その結果、見事、優勝を果たしました。

女子の部には、本校から2チームが出場し、低・中・高学年各1名、計3名で競いました。

みんなのがんばりで、総合優勝を果たすことができました！



その後、男子は各学年別、女子は低・高学年別に個人戦を行いました。どの試合も白熱した試合となり、観客の方々の大きな声援があがりました。試合の結果は、下記のとおりです。

男子団体	優勝	第四小学校
女子団体	優勝	四小 A チーム
	2 位	四小 B チーム
1 年男子	優勝	柴崎 晟那
2 年男子	2 位	永川 富海
4 年男子	優勝	苑田 航一
	2 位	濱村 颯大
	3 位	平坂 佑心
5 年男子	優勝	柴崎 凜旺
	2 位	高田 陽輝
6 年男子	優勝	網本 瑛仁
低学年女子	優勝	松崎 美虹
	2 位	堤 乙暁
	3 位	大平 実優
高学年女子	優勝	堀川 真鈴
	2 位	永川 愛
	3 位	永川 千陽
総合成績	優勝	第四小学校

Challenge【挑戦】が生み出す変化

四年ぶりの市民体育祭相撲大会を観戦して、子どもたちのたくさんさんの Challenge に感動した。

杉谷地区の相撲大会が四年ぶりに開催された後とは言え、積極的に出場してくれた子どもたちは、まさに自分への Challenge だった。

特に女子の出場者は、まわしを着けることや周りの目も気になった違いはない。

相撲は、直径4m55cmの土俵の中、一対一で向かい合い、体と体をぶつけ合う競技だ。

一対一で向かい合うことは、思った以上に勇気がいる。

加えて体と体のコンタクトが必要なことから時には、痛みも伴う。

自分の恐怖心に向き合う Challenge があつたに違いない。

勝敗は抜きにして、勝負の後はお互いを気遣ったり、言葉をかけたりする場面が多く見られた。

努力、勇気、思いやり、感謝など、出場するという Challenge で多くのことを学び、自分の変化をもたらしした。

子どもはたくさん可能性を秘めているからこそ、小さな Challenge が大きな変化をもたらし。

その小さな Challenge につながる、子どもの背を押す、手をもって引き上げ、励まし、価値付けができる、親、教師、大人でありたい。